

都市・地域の将来像アセスメントについて

国土交通省国土技術政策総合研究所 都市研究部

目的と活用

将来の都市・地域の構造に関して複数の代替案(施策案)を様々な観点から比較・評価することで、合理的な選択を可能とするアセスメントの手法とツールを開発

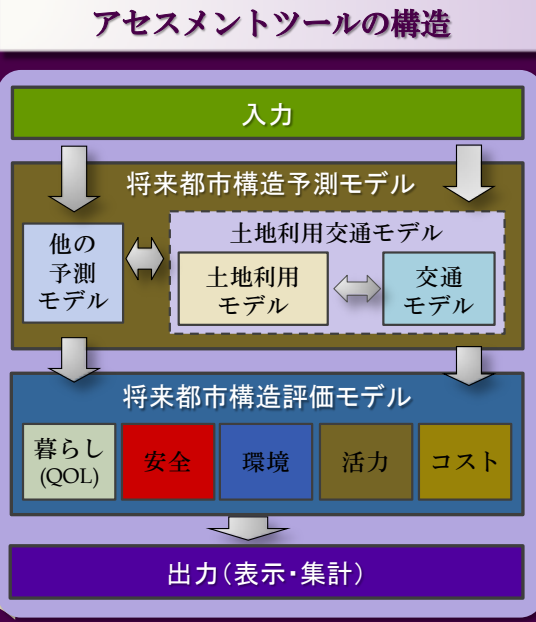
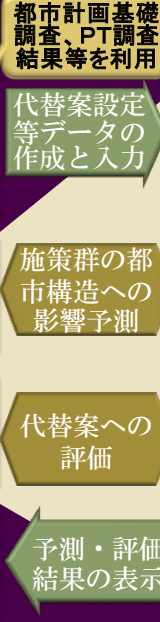
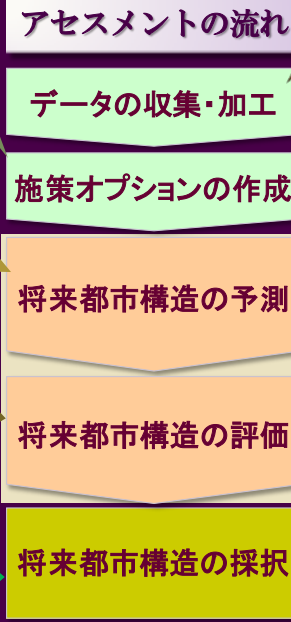
都市計画の現場での活用

- ◆ 代替案のメリットとデメリットが、暮らし・安全・環境・活力・コストの観点から客観的・定量的に比較可能
- ◆ 各都市に相応しい「集約型都市構造(コンパクトシティ)」の合理的な検討が可能
- ◆ 市民の参加を得て代替案の作成、結果の比較等を行う等により、都市構造のあり方に対する市民の理解が深まる

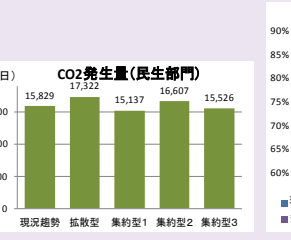
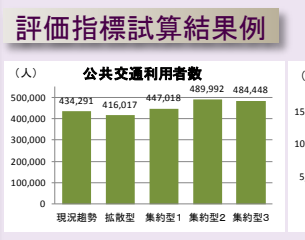
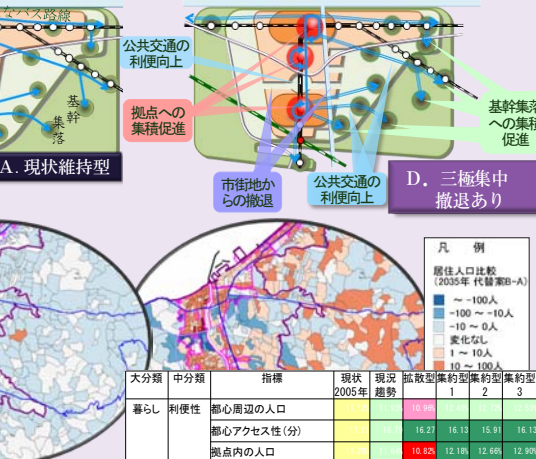
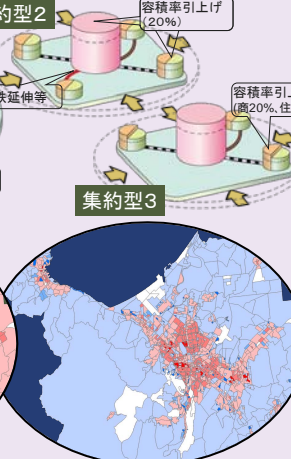
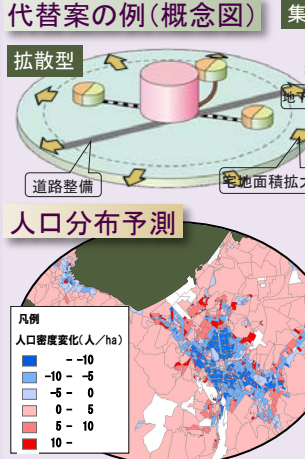
都市政策目標への寄与

- 地方都市における「持続可能な都市」の構築
- 市街地の拡散的拡大、人口・財政・環境等の諸制約増大への対処
- 都市計画への市民参加の進展

将来像アセスメントのイメージ



代替案とツールの出力内容のイメージ



大分類	中分類	指標	現状 2005年	現状 2035年	拡散型	集約型1	集約型2	集約型3
暮らし	利便性	都市周辺の人口	16.27	16.13	15.91	16.13	15.91	16.13
		都市アクセシビリティ(分)	12.18	12.18	12.66	12.90	12.66	12.90
		拠点内の人口	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30
居住	駅へのアクセシビリティ(分)	一人当たりの床面積(m ² /日)	42.62	44.14	44.14	44.14	44.14	
		居住費用負担(千円/年)	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	
交通	公共交通の利用者数(人/日)	運賃の混雑度(混雑度1以上、各キロ(1台当り))	12.50	12.50	12.50	12.50	12.50	
		医療施設へのアクセシビリティ(分)	17.32	16.93	16.60	16.93		
安全	医療	運輸部門のCO2排出(t/日)	17.32	16.93	16.60	16.93		
		民生部門のCO2排出(t/日)	15.829	15.137	16.607	15.526		
環境	D02排出	民生部門のCO2排出(t/日)	17.32	16.93	16.60	16.93		
		民生部門のCO2排出(t/日)	17.32	16.93	16.60	16.93		
活力	経済活動	従業者数の増減	17.32	16.93	16.60	16.93		
		小学校の維持管理負担	17.32	16.93	16.60	16.93		
行政	維持管理	中学校の維持管理負担	17.32	16.93	16.60	16.93		
		中学校の維持管理負担	17.32	16.93	16.60	16.93		
サービス	サービス	小学校の維持管理負担	17.32	16.93	16.60	16.93		
		中学校の維持管理負担	17.32	16.93	16.60	16.93		

※ 将来都市構造代替案や数値等は、実際と整合するものではない

今後

- ケーススタディの対象都市・検証内容の拡充
 - 将来像アセスメント実施のガイダンスの作成と配布
- ▶ 将来像アセスメントの普及を図っていく予定

問い合わせ先: 都市防災研究室 木内望(kiuchi-n92ta@nilim.go.jp)